

# 地球科学輻合ゼミナール

## (2014年度 後期 第7回)のご案内

大陸衝突型造山帯、ヒマラヤのテクトニクス

酒井治孝

京都大学 大学院 理学研究科 地質学鉱物学分野

40億年前以降、大陸は衝突と分裂を繰り返し、それに伴い地球環境と生物は進化してきた。最近の研究により、大陸が衝突・合体し、超大陸が形成された時代には気候は寒冷化し、超大陸が分裂をしていた時代には、気候は温暖化したことが分かってきた。しかし、大陸衝突によってどのような地質学的イベントが起こるのか、そのメカニズムはどうなっているのか、またそれによって大気・海洋にはどのような影響があるのか、というような基本的な事柄については、未解決な問題が多い。本講演では、現在も大陸の衝突が続いている衝突型造山帯ヒマラヤ山脈を例にとり、その現在と過去のテクトニクスについて概要を紹介する。また最近演者らのグループが取り組んでいる変成帯の上昇とナップのテクトニクス・温度履歴に関する研究の成果、および提案しているモデルについて紹介する。

12月3日(水) 午後4:30~午後6:00

場所: 理学研究科6号館 303号室